

2025年日本国際博覧会(大阪・関西万博)

「運営参加」

-参加説明資料-

2022年7月26日

公益社団法人2025年日本国際博覧会協会

運営参加の概要

大阪・関西万博の概要

テーマ

いのち輝く未来社会のデザイン
Designing Future Society for Our Lives

サブテーマ

Saving Lives (いのちを救う)
Empowering Lives (いのちに力を与える)
Connecting Lives (いのちをつなぐ)

コンセプト

People's Living Lab (未来社会の実験場)

開催期間

2025年4月13日(日)～10月13日(月) 184日間

想定来場者数

約2,820万人

開催場所

大阪 夢洲 (ゆめしま)



会場デザイン

海と空が感じられる会場

四方を海に囲まれたロケーションを活かし、世界とつながる「海」と「空」が印象強く感じられる会場



企業・団体等の参加メニュー

大阪・関西万博では、企業・団体が参画できるよう様々な参加メニューをご用意しており、
貴社・団体が現在お持ちの施設・物品・技術・サービス等をご提供いただき、参加することが可能です。

パビリオン出展

万博のテーマに沿って自由な発想で
独自に企画・出展する参加

敷地面積約3,500㎡
募集終了
9区画

テーマ事業協賛

8名のプロデューサーが企画する
テーマ事業に協賛社として参加

資金
施設・物品・役務提供

未来社会ショーケース 事業出展

会場内で未来社会の実証・実装や
テーマを具現化する展示を行う参加

事業出展
資金・施設・物品・役務提供

会場整備参加 運営参加

施設・物品
・役務提供

TEAM EXPO 2025 参加

共創チャレンジ
共創パートナー

催事参加

資金・施設・物品
・役務提供

営業参加

営業施設出店
ライセンスビジネス

万博応援参加

広報・プロモー
ション
指定寄附

会場整備参加・運営参加とは

皆様からの会場整備・運営に必要な施設・物品、サービスのご提供をもって、すべての来場者が快適に過ごせる会場づくりを行います。

会場整備参加

- 会場の整備に関する施設や物品を提供
- 会場の整備に関する施設や物品を無償貸与
- 必要な技術やサービス、人員を無償提供

募集終了

※今後の会場整備の状況により、追加募集をすることがあります。

運営参加

- 会場の運営に必要な施設や物品を提供
- 会場の運営に必要な施設や物品を無償貸与
- 必要な技術やサービス、人員を無償提供

2022年2月から段階的に募集
アイテムにより時期をずらして（必要な時期に）募集

2005年に開催された愛知万博では、全国から規模を問わず、多数の企業・団体に参加いただき、万博事業の成功に大きな貢献をしていただきました。

運営参加の概要

会場内外で万博運営に必要な施設・物品、サービスのご提供をもってすべての来場者が快適に過ごせる会場づくりを行います。

施設・物品提供

万博運営に必要な施設や物品等を現物でご提供いただくもの

無償貸与

万博運営に必要な施設や物品を無償で貸与いただくもの（会期終了後、協賛者にて回収の上、販売や再利用いただけます）

役務提供

万博運営に必要な技術やサービス、人員等を無償でご提供いただくもの

例

ベビー
カー

リユース
食器

ユニ
フォーム

スタッフ
用輸送車
両

ドロー
ン

ウェアラ
ブルデバ
イス

技術者
等派遣

ごみ箱

椅子・
机

事務
用品

アプリ・
システム
提供

クラウド
サービス

ご協賛いただいた物品等は、各国多数の方が訪れる会場内外にて、
企業名称・ロゴ等を表示した状態で使用させていただきます。

大阪・関西万博は、御社の製品・サービスのプロモーションとして最適な場です！

持続可能な万博を目指した取組

大阪・関西万博は、その運営においてもSDGs達成を実現するため、環境や社会への影響を適切に管理し、持続可能な万博の運営を目指します。このため、施設・物品・役務をご提供いただく協賛者の皆様におかれましても、「持続可能性に配慮した調達コード」の内容を理解し、遵守していただくようお願いしています。また、会期後の後利用・再資源化についても考慮いただくようお願いいたします。

「持続可能性に配慮した調達コード（※）」に沿った物品等の協賛・調達

※詳細は次ページ参照



協賛・調達時に後利用・再資源化についても考慮
(環境配慮製品や無償貸与を歓迎、無償提供の場合は会期後の扱いを事前に調整)

[1]
発生抑制 (リデュース)
再使用 (リユース)

[2]
再生利用
(リサイクル)

[3]
熱回収

[4]
適正処分



優先度高

優先度低

持続可能性に配慮した調達コード

- 「持続可能性に配慮した調達コード」は、大阪・関西万博が与える環境・社会・経済への影響について、リスクの低減を図るとともに、ポジティブな効果が広がり、環境・社会・経済の分野においてレガシーを残すことを目的としています。
- 博覧会協会は、調達コードの遵守を、サプライヤー、ライセンサー、パビリオン運営主体等及びサプライチェーンをはじめとする関係者との共同の取組として推進するとともに、SDGsの実現に向けて、同様の取組が拡大し、広く社会に持続可能性を重視する姿勢が定着するよう働きかけていくこととしています。

参加募集時

- ✓ 「持続可能性に配慮した調達コード」の内容のご確認をお願いいたします。
- ✓ また、後日「チェックシート」（持続可能性の確保に向けた取組状況に関する質問票）のご提出をお願いいたします。

契約締結時

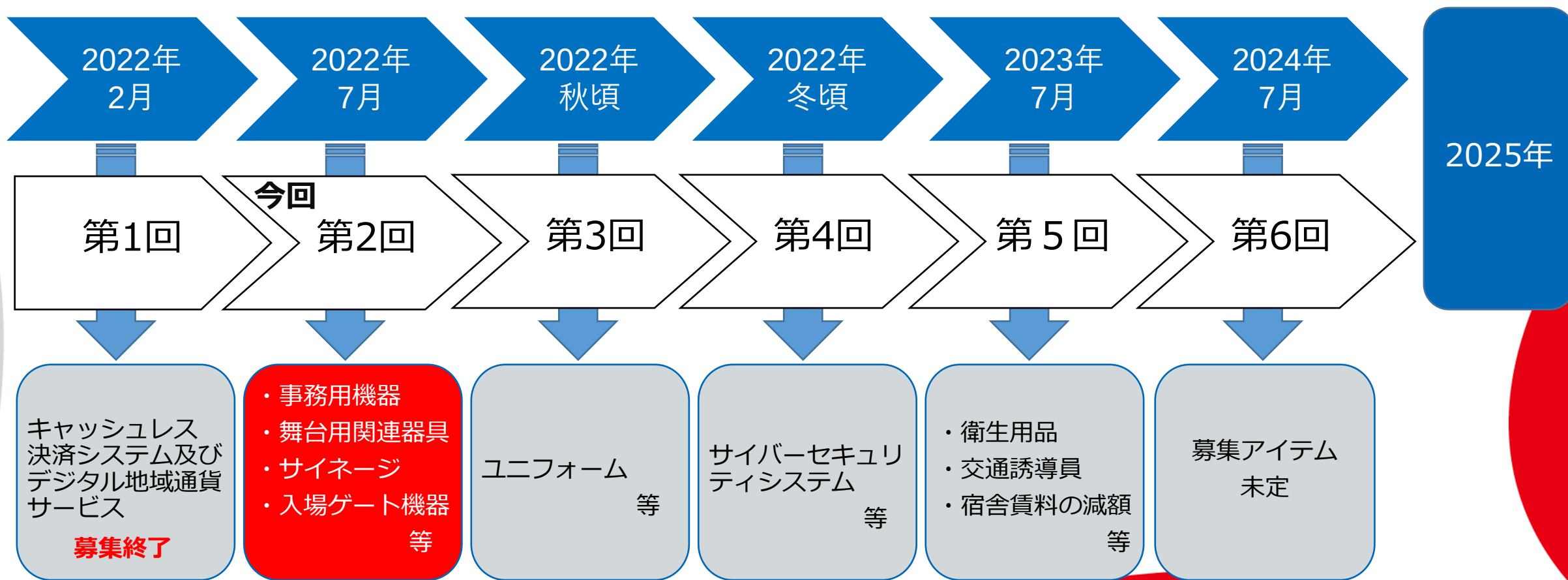
- ✓ 協賛者となる皆様には、「誓約書」（調達コードの遵守に関する誓約書）のご提出をお願いいたします。

契約実施時

- ✓ 博覧会協会は、必要に応じて、調達コードの遵守に向けた取組状況の確認・モニタリングなどを行うことがあります。

運営参加の全体募集スケジュール

運営準備スケジュールに合わせて2022年7月、2023年7月、2024年7月と、アイテムにより順次募集を行います。
アイテムによっては、毎年7月以外の時期に募集をする場合があります。



※現時点での予定となります。

第2回で募集する具体的アイテムの例①

カテゴリー	アイテム名称	概要	希望する受入方法	数量
日用品、衛生用品	客席（机・椅子）	屋外での飲食使用を主な目的とする	無償貸与	8000席
	ユニバーサルサービスにおける物品等の提案（来場者向け）	障がいのある方・高齢者・乳幼児連れの方などに対する貸出・無料配布などできる備品等	無償貸与	要相談
飲食料品、ギフト	記念品（ノベルティ）	IPM参加者への記念品（23年・24年分）	現物提供	各年 600個
	公式参加者用万博エコバッグ	公式参加者への配布品	現物提供	2000枚
重機、工具	輸送指揮室等（プレハブ事務室）	会場外駐車場運営関係	無償貸与	要相談
	トイレ	会場外駐車場運営関係	無償貸与	要相談
機械、機器	QR認証読取端末	入場券発行時のQRコードを認証用、賓客専用ゲート入場時のQRコード読込用	無償貸与	約430台
	監視カメラ（屋外・防犯用）	屋外用防犯カメラ等の防犯カメラ機材	無償貸与	664台
	改札ゲート機器 （制御ソフト、顔認証システム及び認証機器など含む）	入場ゲートに設置する入場機器。入場券認証キーと連携し、ゲート等の開閉により来場者の入退場で使用する。	無償貸与	140台

第2回で募集する具体的アイテムの例②

カテゴリー	アイテム名称	概要	希望する受入方法	数量
機械、機器	監視カメラ(倉庫監視用)	協会倉庫内外にて使用	無償貸与	20～30台
	急速充電器/充電器	業務用車両、関係者ビークル、協会スタッフ通勤車両用の充電	無償貸与	300台
	高性能スループット式金属検査装置	セキュリティ機材	無償貸与	26台
	ごみ計量システム(はかり)	サブストックヤードにてごみを排出事業者ごと、分別区分ごとに計量して記録	無償貸与	11台
	場内配送用ビークル	場内配送用のモビリティ(外周トラム・バックヤードを走行)		10台
	デジタルサイネージモニター+筐体(屋外仕様) + 表示コンテンツ制御アプリケーション	エントランス広場の入場待機列に設置し入場方法やパビリオン・催事予約を促すコンテンツを表示	無償貸与	30台
	舞台用映像関連機器・プロジェクター5万ルーメン架台付き	プロジェクターの搬入・搬出費、据付・撤去費、コンテンツ・運営のオペレーション役務提供を募集	無償貸与	33式
その他物品	医療用救護カート等の負傷者等運搬用備品	負傷者等運搬用	無償貸与	12式
	フルコングランドピアノ	大小催事場等での音楽イベントで使用	無償貸与	4台
	ユニバーサルサービスにおける物品等の提案(スタッフ向け)	会場スタッフがお手伝いさせていただく際に役立つ物品等	無償貸与	要相談

第2回で募集する具体的アイテムの例③

カテゴリー	アイテム名称	概要	希望する受入方法	数量
システム、 ソフトウェア	音声認識文字変換端末	行催事実施時に聴覚障がい者に貸与 及びスタッフ携行品	無償貸与	200台
	会場交通ターミナル管理サービス	シャトルバス等会場交通ターミナルに関 する運営システム	役務提供	一式
	会場マップデータ作成(マップ、各種レ イヤー等含む)	アプリやポータルサイトに掲載するデジタ ルマップ	役務提供	一式
	コールセンター業務(チャットボット、 有人チャット等) 管理システム	電話やメール、有人チャットでのお問合 対応	役務提供	20名以上
	制御システム(倉庫監視用)	協会倉庫にて使用	無償貸与	要相談
	総合運営本部サービス	会場外輸送に係る各種のシステムを統 括し、情報を一元管理するシステム	役務提供	一式
	電子決裁システム	協会の決裁をシステム管理するシステム	無償貸与	一式
	バス運行管理サービス	シャトルバス等パークアンドライドバス等 に関する運営システム	役務提供	一式

第2回で募集する具体的アイテムの例④

カテゴリー	アイテム名称	概要	希望する受入方法	数量
役務提供、 人材派遣	エンゲージメントツール	データ利活用に伴う市民の意見収集するためのエンゲージメントツールの提供とその運營業務	役務提供	一式
	会場装飾のデザイン、作成	IPM会場ステージ装飾の看板や、バックパネルの作成(23年分、24年分)	役務提供	一式
	サービス連携事務局業務BPO	万博での共創を実現するための各種参加企業・団体のサービス連携調整やアセスメントを行う事務局業務	役務提供	一式
	代表電話、代表メール等対応	代表電話や代表メールへの問合せ及び画像申請対応業務	役務提供	20名以上
その他	輸送支援	関係者渡航費等	役務提供	要相談

第2回 協賛規模・参加目安・参加要件・応募流れ

- ▶ 対象物品は、別途運営参加の募集ページの「運営参加（第2回）募集リスト」からご確認ください。
- ▶ アイテム番号は複数選択することが可能です。
- ▶ ご協賛アイテムの協賛規模（金銭換算による協賛金額）は、10万円（税抜）以上となります。
- ▶ なお、協賛いただける施設・物品の納品や無償貸与の場合は撤去・回収にかかる費用もご負担いただきます。この納品・撤去・回収費用も金銭換算していただいて結構です。
- ▶ 施設・物品提供については、会期終了後のリユース・リサイクルが可能なものについては、譲渡受け入れ先やリサイクル手法などをお示しいただくようお願いいたします。
- ▶ 金銭換算は市場価格を原則としますが、これによりがたい場合は、自社の価格表や見積もり事例などを明示いただく場合があります。詳細については別途協議させていただきます。
- ▶ 参加団体は、法人又は法人グループ、公的機関等となります。

第2回 スケジュール

2022年7月26日（火）	募集要領の公表、協賛申出書の受付開始 ※所定の申出書に必要事項を記載いただき、メールにてお申込みください。
2022年9月9日（金） 17時	質問の受付締切 ※所定の様式を使用し、メールにてご質問ください。
2022年9月16日（金） 17時	協賛申出書の提出締切
2022年9月下旬以降	協賛申出書に対する個別ヒアリングの実施 ※申出書の内容や条件について、個別にヒアリング・協議をさせていただき、受け入れ可能か検討させていただきます。
2022年11月以降（予定）	協賛受入検討結果の通知、 協賛契約の締結・協賛者名の公表（順次）

協賛特典について

協賛特典として、以下の4つの特典をご用意しております。
ランクや使用範囲等については、協賛金額（税抜）によって異なります。

｜ 呼称権 ｜

大阪・関西万博にご協賛いただいていることを
商品広告やプロモーション等に使用できます。

｜ 名称表示権 ｜

名称・企業ロゴをご協賛対象の物品等に
表示できます。

｜ 協会HP等での社名掲載権 ｜

協会HP、出版物等でご協賛企業・団体名を
掲載いたします。

｜ 万博公式ロゴマーク使用权 ｜

万博公式ロゴマークを広告・社内利用物等に
使用できます。

| 呼称権 |

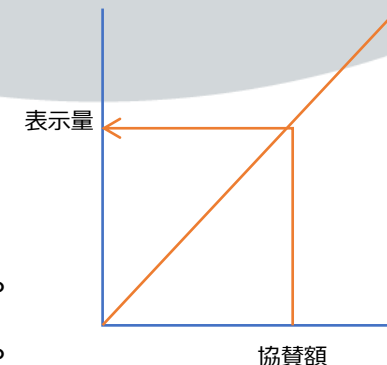
以下の呼称を貴社の商品やサービスの広告やプロモーション等に使用することができます。

協賛金額	呼称
1 5 億円以上	大阪・関西万博「事業名称」プラチナパートナー
1 0 億円以上	大阪・関西万博「事業名称」ゴールドパートナー
5 億円以上	大阪・関西万博「事業名称」シルバーパートナー
1 億円以上	大阪・関西万博「事業名称」ブロンズパートナー
1 億円未満	大阪・関西万博「事業名称」パートナー（資金） 大阪・関西万博「事業名称」サプライヤー（物品・サービス）

※「事業名称」部分の表記方法および呼称の使用方法等については、協会が別途定めます。

※別途定める呼称ガイドラインに従って、使用してください。

名称表示権



対角線の長さ(m)



名称・企業ロゴを協賛対象の物品に限り、万博会場内外のアイテム等へ表示することができます。
 以下の一つ（一個）あたりの金額の上限値および協賛金額の表示総量の上限値内で表示できます。
 名称表示の大きさに関しては、名称表示範囲の対角線の長さを基準として用います。
 納品時において名称表示が上限値を超えている場合はマスキングを行っていただきます。
 名称表示箇所がないまたは視認できない場合については、別途名称表示箇所を検討します。

協賛金額の表示総量における上限値（税抜）

協賛金額	名称表示総量の上限値
15億円以上	対角線 25.0m
10億円以上 15億円未満	対角線 21.0m
5億円以上 10億円未満	対角線 15.0m
1億円以上 5億円未満	対角線 10.0m
5,000万円以上 1億円未満	対角線 5.0m
5,000万円未満	対角線 2.5m

※別途定める名称表示ガイドラインに従って、表示できます。

施設等一つの上限値（税抜）

施設等一つ（一個）あたりの金額	名称表示の上限値
5,000万円以上	対角線 2.00m
3,000万円以上 5,000万円未満	対角線 1.50m
1,000万円以上 3,000万円未満	対角線 1.25m
500万円以上 1,000万円未満	対角線 0.75m
100万円以上 500万円未満	対角線 0.40m
10万円以上 100万円未満	対角線 0.15m
10万円未満	対角線 0.10m

| 協会HP等での社名掲載権 |

協会ホームページ、出版物等でご協賛企業・団体名を掲載いたします。

運営参加協賛企業

プラチナパートナー

Banpaku

Hakurankai

ゴールドパートナー

万博社

博覧会

イメージ

| 万博公式ロゴマーク使用权 |

万博公式ロゴマークを貴社の広告・社内利用物・頒布品・景品に使用することができます。

対象	概要	1 億円 未満	1 億円 以上	5 億円 以上
企業広告	企業理念、事業活動等の周知を目的とする広告	○	○	○
商品広告	商品・サービスの周知を目的とする広告	—	—	○
景品	商品やサービスの購入者への特典として無償で配布・提供されるもの	—	—	○
頒布品	無償で配布するもので、「景品」を除いたもの	○	○	○
自社使用品	自社内で使用されるもの 例) 社員証、名刺など	○	○	○
ロックアップ デザイン利用		—	○	○

※別途定めるロゴマークガイドラインに従って、使用してください。

運営参加 特別プログラム 「Co-Design Challenge (CDC)」の概要

運営参加 特別プログラム「Co-Design Challenge (CDC)」とは

- 「Co-Design Challenge」プログラム（以下、CDC）は、会場に必要な物品やサービスの貸与・提供を受けるにあたり、これを「大阪・関西万博を契機に、“これからの日本の暮らし（まち）”をつくる」機会と捉え、様々な企業・団体の皆様と共創しながら、デザインの視点を取り入れたプロダクトや社会の仕組みのデザインにチャレンジする、新しい共創の取組です。
- 大きな資本を持たない企業・団体にも参加頂き、本万博のコンセプトである「People's Living Lab」を体現するプログラムです。

CDCは「これからの〇〇（物品名・サービス名）をデザインする」をフォーマットとして、取り組んでいきます。

テーマ（CDCのフォーマット）

これからの〇〇をデザインする

↑
背景
社会課題

↓
アウトカム
万博が目指す未来社会

CDCの特徴

1. 万博を機会として、新しい「何か」をつくること
2. 共創の取組であること
3. デザイン視点で取り組むこと
4. 大資本でなくても取り組めること

CDCの提案条件

1. これから新たに“開発”を行う物品・サービスであること
2. 複数の企業・団体が協力して開発に取り組むことが望ましい
(複数の企業・団体に応募することが望ましい。
採択後に「TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録を必須とする。)

3. デザイナー/クリエイターが参加すること
4. 応募者に中小企業が含まれること

「TEAM EXPO 2025」プログラムは以下を参照のこと。
<https://team.expo2025.or.jp/>

運営参加 一般とCDCの違い

概要

一般

CDC

趣旨の 違い

既に販売されている物品・サービスを貸与・提供頂く
※協賛を頂く時点までに、品質を保証頂くものとなるならば、開発要素を含む物品・サービスであっても構いません。

これから新たに開発を行う物品・サービスを貸与・提供頂く
※既製品をベースとしながら、一部に開発の要素を含むことでも構いません。

メリット ・ 協賛金額に応じた協賛特典

協賛金額に応じた協賛特典に加え、

- ・ EODCメンバー（※）によるアドバイス
- ・ 完成品の販売（知的財産権は応募者に帰属）
- ・ ブランディング（完成品の知名度・価値向上）の訴求

条件 ・ 個別協議の上、当協会が求める機能及び数量の担保

- ・ ご提供いただく数量は任意
- ・ 複数の企業・団体による共同提案が望ましい
- ・ 「TEAM EXPO 2025」プログラムへの登録（採択後）
- ・ デザイナー/クリエイターの参加
- ・ 中小企業の参加

※EODCとはExpo Outcome Design Committeeの略称で、デザインに関連する幅広い領域からのメンバーが集結し21年末～22年3月まで大阪・関西万博で実装すべき未来社会についてデザインの視点から検討した会議体の名称です。

CDCの3ステップ

STEP 1



今回の募集内容

STEP 2



- ✓ 応募者のノウハウ・資金で開発
- ✓ 博覧会協会のメディアでプロセスを発信・PR
- ✓ EODCメンバーによるアドバイス

STEP 3



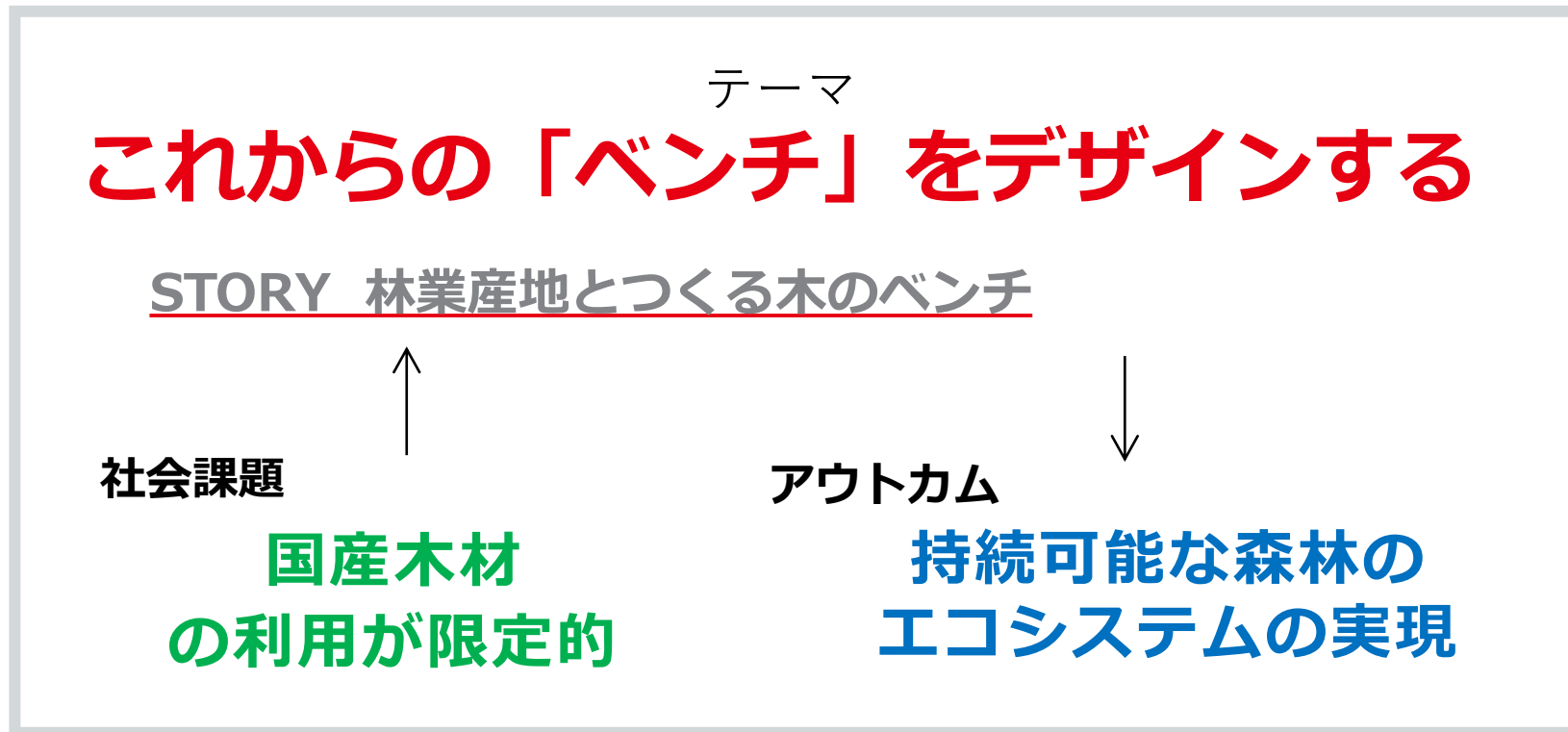
万博で活用

開発した
製品・サービスの
販売拡大

これからの暮らし
(まち)をつくる

- 今回、CDCプログラムの募集の対象とする物品・サービスは「運営参加（第2回）募集リスト」を参照下さい。
- 本プログラムは応募団体、皆様のノウハウと資金で実行頂く取組を募るものとなります。当協会からの資金提供はございませんので了承ください。

CDCの具体的なイメージ（例示）



展開例

- ① 地域特産材の活用・プロモーション
- ② 間伐材・節あり材・根曲がり材などの活用
- ③ 無垢材・一点モノによるプロモーション

質問方法・問い合わせ先

● 質問方法

- ✓ 電子メールのみ受け付けます。
- ✓ 件名には、「【質問】運営参加：申出者名」としてください。
- ✓ 質問内容は、所定の「質問票」をご使用ください。
- ✓ 質問は、2022年9月9日（金）午後5時までをお願いいたします。

● 問い合わせ先

- ✓ 企画局 企画部 出展課
- ✓ E-mail : unei_sanka1@expo2025.or.jp
- ✓ 質問者が送信した電子メール宛てに事務局から3営業日以内に受信した旨の返信メールを送付します。事務局からの返信メールが届かないときは、事務局まで電話（06-6625-8684）で次の時間帯に問い合わせてください。
 - ✓ 平日（土曜日、日曜日、祝日を除く）
 - ✓ 午前10時から午後5時まで（正午から午後1時は除く）